

大阪デザインセンター主催

生成 AI 実践活用講座 初級編

実務に直結する

3時間

講義 +
ワークショップ

ChatGPTの 機能を理解し 実務で活用する

ー AI を使う人から、AI で成果を出す人へー

ChatGPT を「なんとなく触っている」状態から、「良い指示を出し、日常業務で確実に成果を出す」状態へ。
機能の全体像を理解し、実務でそのまま使えるノウハウを持ち帰ります。

このような方にオススメ致します

- ▶ 少し使ったことはあるが、毎回うまく使えていない実感がない方
- ▶ メール、案内文、報告文、議事録などの作成に時間がかかっている方
- ▶ 文章作成、要約、言い換えなど、日常業務を効率化したい方
- ▶ 指示出しの基本を身につけたい方
- ▶ AI の出力が「浅い・ズレる・使いにくい」と感じている方
- ▶ 部下やチームに教えられる程度の基本を身につけたい方
- ▶ いずれ AI エージェントを使いたいとお考えの方

講師

大庭 康德 氏

中小企業診断士

ブレイクスルー・パートナーズ 代表



1985年大阪大学経済学部卒業後、伊藤忠商事に入社。総合商社で約40年間、国内外営業、海外駐在、経営企画、リスクマネジメント等に従事。インドネシア駐在時には不良債権先の事業再生支援を経験し、「数字と現場の両面から支援する」姿勢を確立。2012年に中小企業診断士登録。製造業・BtoB 企業を中心に、経営改善、経営戦略、新規事業、生成 AI 活用まで伴走支援を行う。

この講座で学べること

1



ChatGPTの機能を
理解する

できること、得意・不得意、
最新機能の全体像

2



プロンプトの基本構造

役割・目的、対象、条件
出力形式の5要素

3



悪い指示vs良い指示

同じ課題を実際に
出力して体感する

4



日常業務での活用例

メール返信 / 案内文、
議事録要約、報告書のたたき台
TODO 整理

5



体験ワーク

AI でメール、議事録
業務効率化を体験

日時

8.21【金】
15:00-18:00

会場

大阪デザイン
センター

大阪市中央区船場中央 1-3-2-101
船場センタービル 2 号館 1 階北通り

参加費

11,000円
(税込)

ODC 会員様は
1名無料

持ち帰るもの

- ・メール作成プロンプト
- ・議事録作成プロンプト
- ・TODO 整理プロンプト
- ・自分の業務時短プロンプト(1つ)

事前準備

・ノート PC / インターネット接続(ODC の Wi-Fi 利用可)

・ChatGPT アカウント(無料版可。より快適に体験したい方は有料版推奨)

※機密情報・個人情報を含むファイルは持ち込まないでください

本講座シリーズ
只今受付中

※講座毎に参加費が必要となります。

中級編 9.2【水】『GeminiNotebook』を使って業務をスムーズに進める

応用編 9.7【月】『Claude Code』で生成 AI に業務をさせる



主催：一般財団法人 大阪デザインセンター

問い合わせ：一般財団法人大阪デザインセンター odc@osakadc.jp

詳細・お申込



ODCシリーズ 習得レベル別

生成 AI 実践活用講座

「知っている」から、
「使いこなして
成果を出す」へ。



ビジネスと経営の現場で使える レベル別・実践型 生成 AI 講座

生成 AI は、もはや一部の専門家だけが使うものではありません。メール作成、議事録整理、企画立案、提案書づくり、情報整理、マーケティング、経営の壁打ちまで、日々の仕事を支える実務ツールになりつつあります。

大阪デザインセンターでは、こうした不安や課題に応えるため、生成 AI を段階的に学べる実践型講座を開講します。

その悩み、この講座で解決します。

01 入門

知る



7.22【水】

生成 AI への不安を解消し、
安心して使い始める

02 初級

使う



8.21【金】

メール・議事録・整理など、
日常業務で使えるようになる

03 中級

考える



9.2【水】

企画・提案・マーケティング
など、思考の質を高める

04 応用

仕事を
支えさせる



9.7【月】

AI 秘書・AI エージェント
として、業務フローに組み込む

このような方におすすめです

- ▶ ChatGPT や生成 AI に興味はあるが、まだ使いこなせていない方
- ▶ 生成 AI を仕事に活かしたいビジネスパーソン メール・資料作成・議事録・情報整理の時間を短縮したい方 企画・マーケティング・営業提案・商品開発に AI を活用したい方
- ▶ 経営者・管理職・チームリーダーとして、社内活用を進めたい方
- ▶ AI を個人利用で終わらせず、業務フローに組み込みたい方
- ▶ リスクや注意点も理解したうえで、安全に使いたい方

